

平成 1 9 年度

青梅市病院事業決算審査意見書

青梅市監査委員

写

青 監 第 2 3 号
平成 2 0 年 8 月 2 5 日

青梅市長 竹 内 俊 夫 様

青梅市監査委員 小 澤 英 喜
同 青 木 雅 孔

平成 1 9 年度青梅市病院事業決算審査意見について

地方公営企業法（昭和 2 7 年法律第 2 9 2 号）第 3 0 条第 2 項の規定により審査に付された平成 1 9 年度青梅市病院事業決算について、別紙のとおり意見を付します。

以 上

		目	次
第1	審査の概要	1
1	審査の期間	1
2	審査の場所	1
3	審査の手続	1
第2	審査の結果	1
1	決算諸表について	1
2	経営状況について	1
(1)	経営成績	1
(2)	収 益	3
(3)	費 用	6
(4)	患者に対する収益と費用	8
(5)	科別患者数・診療収益および病床利用状況	8
(6)	地域別病院利用状況	1 2
3	財政状況について	1 3
(1)	資産、負債および資本状況	1 3
(2)	資本的収支不足額の補てん状況	1 4
(3)	財務比率	1 5
4	建設改良事業について	1 6
(1)	建物および付帯設備工事	1 6
(2)	固定資産購入	1 6
第3	要望等事項	1 7
	【別 表】		
1	比較損益計算書	1 9
2	比較貸借対照表	2 1

平成19年度青梅市病院事業決算審査意見書

第1 審査の概要

- 1 審査の期間 平成20年6月2日から平成20年8月13日まで
説明の聴取 平成20年7月17日
- 2 審査の場所 青梅市立総合病院および青梅市監査事務局
- 3 審査の手続

この決算審査に当たっては、市長から提出された決算関係書類が病院事業の経営成績および財政状況を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計帳票・証拠書類の照合等、通常実施すべき審査を行ったほか、必要と認めたとその他の審査を実施した。

また、経営内容を把握するため、計数の分析を行い、経済性および効率性の発揮ならびに公共性の確保を主眼として考察した。

第2 審査の結果

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法および関係法規に準拠し、病院事業の経営成績および財政状況を適正に表示しているものと認められる。

なお、消費税にかかる経理は、予算は税込み、決算は税抜きで処理することとなっているため、決算諸表等は税抜きとなっている。

2 経営状況について

(1) 経営成績

当事業年度における病院事業の収益的収支の決算額は、総収益150億7,364万250円に対し、総費用148億7,906万7,469円で、差引き1億9,457万2,781円の純利益が生じた。

経営成績の推移を見るための年度別収益的収支決算状況は、次表のとおりである。

年度別収益的収支決算状況

(単位:円、%)

区 分		19 年 度	18 年 度	17 年 度	
総	決 算 額 (A)	15,073,640,250	15,113,452,492	15,093,378,036	
	(A)の対前年度増減率	0.3	0.1	4.6	
収 益	(A)のうち	補 助 金 (B)	756,712,000	847,926,000	844,510,000
		他会計負担金 (C)	592,491,000	567,150,000	570,406,000
		計 (B) + (C) (D)	1,349,203,000	1,415,076,000	1,414,916,000
	補 他	(D)が決算額に占める割合 $\frac{(D)}{(A)}$	9.0	9.4	9.4
	助 会	(D)の対前年度増減率	4.7	0.0	1.0
	金 計				
総費用	決 算 額 (E)	14,879,067,469	14,822,091,217	14,761,899,335	
	(E)の対前年度増減率	0.4	0.4	5.8	
差 引 純 利 益 (A) - (E)		194,572,781	291,361,275	331,478,701	

病院事業の経済性を評定するため、経済比率を算出すると、次表のとおりである。

経 済 比 率

(単位：%)

区 分	19 年 度	18 年 度	17 年 度	全国平均 (18年度)	算 式
経 営 資 本 医 業 利 益 率	1.5	2.5	1.9	6.5	$\frac{\text{医業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$
経 営 資 本 回 転 率 (回)	0.709	0.695	0.700	0.515	$\frac{\text{医業収益}}{\text{経営資本}}$
医 業 収 益 医 業 利 益 率	2.1	3.6	2.8	12.6	$\frac{\text{医業利益}}{\text{医業収益}} \times 100$

経営資本医業利益率は、事業の経済性を総合的に表示するための目安となるが、1.5%であり、前年度に比べ1.0ポイント改善している。

経営資本回転率は、事業における経営資本がどれだけ利用されたかを示す指標であり、他面において投資された資本量が適正であったか否かを検討する尺度となるものである。当年度は0.709回で前年度に比べて0.014回改善している。

医業収益医業利益率は、2.1%であり、前年度に比べて1.5ポイント改善している。

(2) 収 益

総収益の決算額 150 億 7,364 万 250 円を前年度と比較すると 3,981 万 2,242 円 (0.3%) の減少である。

なお、総収益の内訳は、次表のとおりである。

病 院 事 業 収 益 の 内 訳

(単位：円、%)

区 分	19 年 度		18 年 度		増 減 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
病 院 事 業 収 益	15,073,640,250	100.0	15,113,452,492	100.0	0.3
医 業 収 益	13,515,675,789	89.7	13,297,916,684	88.0	1.6
医 業 外 収 益	1,502,303,139	9.9	1,771,775,781	11.7	15.2
特 別 利 益	55,661,322	0.4	43,760,027	0.3	27.2

また、病院事業収益のうち主要な医業収益の決算額を前年度と比較すると、次表のとおりである。

医 業 収 益 比 較 表

(単位：円、人、%)

区 分		19 年 度	18 年 度	増 減 額	増 減 率
入 院 収 益	金 額 (ア)	7,997,293,753	8,008,764,156	11,470,403	0.1
	延べ入院患者数 (イ)	169,627	179,034	9,407	5.3
	患者1人1日 当たり収益 $\frac{(ア)}{(イ)}$	47,146	44,733	2,413	5.4
外 来 収 益	金 額 (ウ)	5,256,205,077	4,991,387,033	264,818,044	5.3
	延べ外来患者数 (エ)	333,957	337,090	3,133	0.9
	患者1人1日 当たり収益 $\frac{(ウ)}{(エ)}$	15,739	14,807	932	6.3
その他医業収益(オ)		262,176,959	297,765,495	35,588,536	12.0
計(ア)+(ウ)+(オ)		13,515,675,789	13,297,916,684	217,759,105	1.6

入院収益は、患者1人1日当たり収益が2,413円(5.4%)増加したものの、延べ入院患者数が減少したことにより1,147万403円(0.1%)の減少となっている。

外来収益は、延べ外来患者数が減少したものの、患者1人1日当たり収益が932円(6.3%)増加したことにより、2億6,481万8,044円(5.3%)の増加となっている。

医業外収益について、科目別の決算額を前年度と比較すると、次表のとおりである。

医 業 外 収 益 比 較 表

(単位：円、%)

区 分	19 年 度	18 年 度	増 減 額	増 減 率
受取利息配当金	1,293,020	37,620	1,255,400	3,337.1
他会計補助金	0	0	0	-
補 助 金	756,712,000	847,926,000	91,214,000	10.8
他会計負担金	592,491,000	567,150,000	25,341,000	4.5
引当金取崩し 収 入	0	200,121,280	200,121,280	皆減
基金取崩し 収 入	0	0	0	-
患者外給食収益	217,152	217,152	0	0.0
そ の 他 医 業 外 収 益	151,589,967	156,323,729	4,733,762	3.0
計	1,502,303,139	1,771,775,781	269,472,642	15.2

当年度の医業外収益のうち減少額の大きな項目は、引当金取崩し収入 2 億 12 万 1,280 円(皆減)、補助金 9,121 万 4,000 円(10.8%) である。

特別利益については、前年度に比べて 1,190 万 1,295 円(27.2%) 増加し、5,566 万 1,322 円である。これは、主に過年度損益修正益が 1,246 万 2,692 円(29.5%) 増加したためである。

社会保険診療報酬審査減の状況は、次表のとおりである。

診療報酬請求と審査減の状況

区 分		19 年 度	18 年 度	17 年 度
請 求	件 数	232,647	230,260	231,127
	点 数	1,258,396,984	1,230,233,008	1,241,658,512
審 査 減	件 数	5,473	7,056	7,164
	点 数	1,972,810	2,373,219	4,028,413
請 求 に 対 す る	件 数	2.35	3.06	3.10
審 査 減 の 割 合 (%)	点 数	0.16	0.19	0.32

病院事業収益の中心は、診療報酬であり、医療機関が保険者に請求するものであるが、社会保険診療報酬支払基金等の審査委員会の審査を経て収入されるもので、同委員会の査定により減点されることがある。

当年度の審査減は、総請求点数 12 億 5,839 万 6,984 点に対し 197 万 2,810 点で、前年度と比較すると 0.03 ポイント改善し、0.16%の減点割合となっている。

(3) 費 用

総費用の決算額は、148 億 7,906 万 7,469 円で、別表 1 の比較損益計算書のとおりである。

この決算額を前年度と比較すると、5,697 万 6,252 円 (0.4%) の増加となっている。

これを費用の構成から見ると、医業費用が 137 億 9,931 万 4,466 円 (総費用に占める割合が 92.7%)、医業外費用が 10 億 393 万 9,799 円 (同 6.8%)、特別損失が 7,581 万 3,204 円 (同 0.5%) となっている。

これらの費用を前年度と比較し、分析すると次のようになる。

医業費用については、前年度に比べて2,411万1,740円(0.2%)の増加となっている。これは、材料費が1,968万704円(0.4%)減少したものの、減価償却費が2,537万1,237円(2.9%)、資産減耗費が1,501万456円(139.9%)増加したことなどによるものである。

医業外費用については、前年度に比べて2,615万4,146円(2.7%)の増加となっている。この主な要因は、支払利息が1,754万4,981円(6.4%)減少したものの、引当金繰入費用が4,447万1,000円(12.6%)増加したためである。

特別損失については、前年度に比べて671万366円(9.7%)の増加となっている。これは、主に過年度損益修正損が637万6,896円(9.3%)増加したためである。

総費用を性質別に区分し、これを前年度と比較すると、次表のとおりである。

性質別費用および構成比較表

(単位：円、%)

区 分	19 年 度		18 年 度		増減率	全国平均 構 成 比 (18年度)
	金 額	構成比	金 額	構成比		
給 与 費	6,222,521,892	41.8	6,222,073,215	42.0	0.0	46.1
支 払 利 息	256,006,890	1.7	273,551,871	1.8	6.4	2.8
減 価 償 却 費	911,180,049	6.2	885,808,812	6.0	2.9	6.6
修 繕 費	211,618,454	1.4	180,908,375	1.2	17.0	0.9
医 療 材 料 費	4,626,433,520	31.1	4,648,806,775	31.4	0.5	21.2
給 食 材 料 費	105,917,431	0.7	103,224,880	0.7	2.6	0.7
そ の 他	2,545,389,233	17.1	2,507,717,289	16.9	1.5	21.8
計	14,879,067,469	100.0	14,822,091,217	100.0	0.4	100.0

この性質別費用の構成比率を見ると、医療材料費が0.3ポイント、給与費が0.2ポイント、支払利息が0.1ポイント、それぞれ構成比率を下げている。減価償却費、修繕費、その他が0.2ポイント構成比率を上げている。なお、給食材料費は前年度と同率である。

(4) 患者に対する収益と費用

入院・外来患者1人1日当たりの収益と費用とを比較すると、次表のとおりである。

患者1人1日当たり収益・費用比較表

(単位：円)

区 分	19 年 度	18 年 度	増 減 額	全 国 平 均 (18年度)		
				全 体	同 規 模	
収 益 (A)	26,839	25,765	1,074	19,745	24,405	
診 療	入院	47,146	44,733	2,413	34,490	43,061
	外来	15,739	14,807	932	9,253	10,672
収 益	計	26,318	25,188	1,130	18,529	23,032
費 用 (B)	27,402	26,690	712	22,234	26,364	
利 益(損 失) (A) - (B)	563	925	362	2,489	1,959	

(5) 科別患者数・診療収益および病床利用状況

科別の患者数および1人1日当たり診療収益の状況は、次表のとおりである。

科別患者数および1人1日当たり診療収益の状況

(単位：人、%、円)

区 分	科 別	実 績					指 数 (延べ患者数)		
		19 年 度			延 べ 患 者 数		19 年度	18 年度	17 年度
		延べ患者数	構成比	1人1日 診療収益	18 年度	17 年度			
入 院	内 科	22,204	13.1	44,289	26,482	27,704	80.7	96.2	100.7
	呼 吸 器 科	21,970	12.9	34,119	19,491	21,314	107.4	95.3	104.2
	消 化 器 科	15,245	9.0	36,529	14,167	15,176	107.7	100.1	107.2
	循 環 器 科	16,405	9.7	91,599	14,940	15,566	101.2	92.1	96.0
	神 経 内 科	6,581	3.9	35,506	7,985	8,038	87.6	106.3	107.0
	外 科	18,244	10.8	49,676	22,099	25,298	71.1	86.1	98.6
	脳 神 経 外 科	7,218	4.2	55,975	6,372	8,506	88.2	77.9	104.0
	呼 吸 器 外 科	1,325	0.8	64,650	1,112	890	124.3	104.3	83.5
	心 臓 血 管 外 科	2,822	1.7	152,149	3,218	2,869	95.0	108.4	96.6
	整 形 外 科	11,760	6.9	41,619	15,019	15,581	83.0	106.0	110.0
	産 婦 人 科	14,911	8.8	51,977	15,965	15,859	79.5	85.1	84.5
	皮 膚 科	214	0.1	44,728	98	117	261.0	119.5	142.7
	泌 尿 器 科	4,043	2.4	41,507	5,070	4,505	69.9	87.6	77.8
	小 児 科	8,060	4.7	31,798	7,761	6,592	117.3	113.0	95.9
	眼 科	1,147	0.7	54,601	1,013	1,055	103.1	91.1	94.9
	耳 鼻 咽 喉 科	2,259	1.3	37,776	2,761	4,158	46.5	56.8	85.6
	精 神 科	14,890	8.8	19,189	15,243	14,456	106.0	108.5	102.9
	放 射 線 科	0	0.0	-	0	0	-	-	-
	リハビリテーション科	0	0.0	-	0	0	-	-	-
	歯 科 口 腔 外 科	329	0.2	43,770	238	86	123.7	89.5	32.3
計	169,627	100.0	47,149	179,034	187,770	89.4	94.4	99.0	
外 来	内 科	52,350	15.7	29,077	58,454	61,362	77.2	86.2	90.5
	呼 吸 器 科	15,262	4.6	23,719	13,412	14,812	107.9	94.8	104.7
	消 化 器 科	19,913	6.0	18,640	17,412	15,605	119.2	104.2	93.4
	循 環 器 科	25,263	7.6	23,281	22,725	21,840	119.9	107.8	103.6
	神 経 内 科	6,013	1.8	15,358	5,754	5,702	128.5	123.0	121.9
	外 科	34,216	10.2	21,822	32,895	32,843	102.5	98.5	98.3
	脳 神 経 外 科	6,486	1.9	12,957	6,561	7,204	76.8	77.7	85.4
	呼 吸 器 外 科	502	0.1	14,323	547	518	89.8	97.9	92.7
	心 臓 血 管 外 科	1,063	0.3	26,221	1,013	922	131.4	125.2	114.0
	整 形 外 科	14,988	4.5	7,846	18,023	19,142	74.4	89.4	95.0
	産 婦 人 科	21,807	6.5	12,245	20,859	21,572	98.0	93.7	96.9
	皮 膚 科	12,380	3.7	3,887	12,612	14,002	88.7	90.3	100.3
	泌 尿 器 科	16,458	4.9	14,139	18,087	19,443	84.9	93.3	100.3
	小 児 科	24,143	7.2	10,867	24,420	23,331	109.4	110.7	105.7
	眼 科	17,049	5.1	5,771	16,617	18,053	86.9	84.7	92.0
	耳 鼻 咽 喉 科	14,555	4.4	5,672	15,667	16,217	81.8	88.0	91.1
	精 神 科	24,586	7.4	10,668	22,635	20,804	124.7	114.8	105.5
	放 射 線 科	8,475	2.5	5,824	6,256	7,933	114.0	84.1	106.7
	リハビリテーション科	13,928	4.2	272	18,372	19,090	84.0	110.7	115.1
	歯 科 口 腔 外 科	4,520	1.4	7,073	4,769	4,955	88.0	92.9	96.5
計	333,957	100.0	15,744	337,090	345,350	95.0	95.8	98.2	

指数値は、平成16年度を100としたもので、1人1日診療収益は、消費税込みの数値である。

入院患者数は、16万9,627人(1日平均463.5人)で、前年度に比べて9,407人(5.3%)減少した。

外来患者数は、33万3,957人(1日平均1,363.1人)で、前年度に比べて3,133人(0.9%)減少した。

これを診療科別に見ると、入院で増加した科は、呼吸器科が2,479人(12.7%)、循環器科が1,465人(9.8%)、消化器科が1,078人(7.6%)、脳神経外科が846人(13.3%)などの9科である。

これに対して、減少した科は、内科が4,278人(16.2%)、外科が3,855人(17.4%)、整形外科が3,259人(21.7%)、神経内科が1,404人(17.6%)、産婦人科が1,054人(6.6%)、泌尿器科が1,027人(20.3%)などの9科である。なお、放射線科とリハビリテーション科の入院患者は0人である。

一方、外来で増加した科は、循環器科が2,538人(11.2%)、消化器科が2,501人(14.4%)、放射線科が2,219人(35.5%)、精神科が1,951人(8.6%)、呼吸器科が1,850人(13.8%)、外科が1,321人(4.0%)などの10科である。

これに対し、減少した科は、内科が6,104人(10.4%)、リハビリテーション科が4,444人(24.2%)、整形外科が3,035人(16.8%)、泌尿器科が1,629人(9.0%)、耳鼻咽喉科が1,112人(7.1%)などの10科である。

患者1人1日当たりの診療収益について見ると、入院では平均4万7,149円であり、これを各診療科別に見ると、心臓血管外科が15万2,149円で最も高く、次に、循環器科の9万1,599円、呼吸器外科の6万4,650円、脳神経外科の5万5,975円、眼科の5万4,601円、産婦人科の5万1,977円の順となっている。

また、外来では平均1万5,744円であり、これを各診療科別に見ると、内科が2万9,077円で最も高く、次に、心臓血管外科の2万6,221円、呼吸器科の2万3,719円、循環器科の2万3,281円、外科の2万1,822円、消化器科の1万8,640円、神経内科の1万5,358円、呼吸器外科の1万4,323円の順となっている。

病床利用状況の推移について見ると、次表のとおりである。

病 床 利 用 状 況

(単位：床、人、%)

区 分	19 年 度			18 年 度			全 国 平 均 (18 年 度)	
	延べ病床数	延べ患者数	利用率	延べ病床数	延べ患者数	利用率	全 体 利用率	同規模 利用率
一 般	185,928	154,737	83.2	200,750	163,791	81.6	78.9	86.6
精 神	18,300	14,890	81.4	18,250	15,243	83.5	75.1	76.6
感染症	1,464	0	0.0	1,460	0	0.0	3.2	6.4
計	205,692	169,627	82.5	220,460	179,034	81.2		

病床利用状況の分析は、病院の施設が有効に利用されているか否かについて見るためのものであり、病院運営上の重要な指標とされるものである。

当年度病床数は、一般病床が42床減の508床となり、全体では、昨年までの604床から562床になった。

当年度の利用率は、前年度に比べて一般病床が1.6ポイント上回る83.2%、精神病床は、2.1ポイント下回る81.4%となっている。

なお、この病床利用率を前年度の全国平均と比べてみると、一般病床も精神病床も高い利用率となっている。

(6) 地域別病院利用状況

地域別病院利用状況

(単位：人、%)

区 分			入 院		外 来	
			延べ患者数	構成比	延べ患者数	構成比
東 京 都	西 多 摩 地 域	青 梅 市	82,608	48.7	192,774	57.7
		福 生 市	10,651	6.3	16,453	4.9
		羽 村 市	19,197	11.3	39,851	11.9
		あ き る 野 市	16,648	9.8	22,314	6.7
		瑞 穂 町	9,566	5.6	18,175	5.5
		日 の 出 町	3,997	2.4	5,316	1.6
		檜 原 村	604	0.4	1,047	0.3
		奥 多 摩 町	4,646	2.7	10,283	3.1
		小 計	147,917	87.2	306,213	91.7
都	区 部	2,753	1.6	1,539	0.5	
	そ の 他	10,770	6.4	11,319	3.4	
	計	161,440	95.2	319,071	95.6	
埼 玉 県	飯 能 市 入 間 市 そ の 他 計	飯 能 市	1,622	1.0	3,936	1.2
		入 間 市	1,563	0.9	4,783	1.4
		そ の 他	1,185	0.7	1,822	0.5
		計	4,370	2.6	10,541	3.1
山 梨 県	1,621	0.9	2,234	0.7		
そ の 他	2,196	1.3	2,111	0.6		
合 計		169,627	100.0	333,957	100.0	

3 財政状況について

(1) 資産、負債および資本状況

病院事業の当事業年度末財政状況は、別表2の比較貸借対照表のとおりである。

資産総額は、191億8,041万3,615円で、前年度末と比較すると、789万536円（0.04%）減少している。これは、流動資産が3億2,673万4,876円（8.0%）増加したものの、器械備品が2億232万8,524円（8.7%）および建物が1億9,912万220円（1.6%）減少したことなどから固定資産が3億3,462万5,412円（2.2%）減少したためである。

負債総額は、25億8,330万538円で、前年度末と比較すると、4億3,263万2,460円（20.1%）の増加となっている。これは、主に固定負債が3億9,827万5,000円（43.0%）増加したためである。

また、資本総額は、165億9,711万3,077円で、前年度末と比較すると、4億4,052万2,996円（2.6%）の減少となっている。これは、剰余金が、補助金や建設改良積立金の増加などにより1億7,071万3,645円（4.1%）増加したものの、資本金が企業債の減少により6億1,123万6,641円（4.7%）減少したことによるものである。

この結果、負債・資本合計は、191億8,041万3,615円で、前年度末と比較すると、789万536円（0.04%）減少している。

(2) 資本的収支不足額の補てん状況

資本的収支は、収入額が4億8,958万2,000円で、これに対する支出額は、17億5,449万8,051円（消費税込み）で、資本的支出額に不足する額は、12億6,491万6,051円である。この不足額を当年度消費税および地方消費税資本的収支調整額80万3,020円、過年度損益勘定留保資金2億7,498万1,467円、当年度損益勘定留保資金9億343万1,564円および減債積立金取崩し額8,570万円で補てんした。

なお、内部留保資金の年度別推移は、次表のとおりである。

内部留保資金の年度別推移

（単位：円）

区分	内部留保資金額（使用可能額）			補てん額	翌年度 繰越額
	前年度繰越分	現年度分	計		
17	406,745,061	939,945,677	1,346,690,738	1,064,528,666	282,162,072
18	282,162,072	928,021,891	1,210,183,963	935,202,496	274,981,467
19	274,981,467	963,642,666	1,238,624,133	1,178,413,031	60,211,102

(3) 財務比率

財 務 比 率

(単位：%)

区 分	19 年 度	18 年 度	増 減	全 国 平 均 (18 年 度)
流 動 比 率	349.3	332.4	16.9	229.5
自 己 資 本 構 成 比 率	35.8	34.3	1.5	30.7
固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率	82.5	84.2	1.7	85.8

流動比率は、短期債務に対して、これに必ずべき流動資産が十分あるかどうか、その割合を明らかにするための比率であり、流動資産額を流動負債額で除したものである。したがって、この比率が高ければ高いほど短期債務の支払に十分な流動資産を有していることになる。当年度は、349.3%で、前年度を16.9ポイント上回っている。

自己資本構成比率は、総資本(資本+負債)に占める自己資本(自己資本金+剰余金)の割合を示すもので、この比率が高いほど経営の安全性が高いとされている。当年度は35.8%で、前年度を1.5ポイント上回っている。

また、固定資産対長期資本比率は、長期資本(資本金+剰余金+固定負債)に対する固定資産の割合を示すもので、その比率は低いほど良く、100%以下が望ましいとされている。当年度は82.5%で、前年度を1.7ポイント下回っている。

以上のとおり、当年度の財務比率を見ると、財務の短期流動性を示す流動比率、経営の安全性を示す自己資本構成比率および固定資産対長期資本比率は、いずれも改善していることを示している。

4 建設改良事業について

改修工事関係については、東西南棟機械設備改修工事、東西棟外壁塗装等工事、結石治療室改修工事、東西南棟機械設備改修工事監理委託等が行われた。

医療器械については、ＣＲシステム、体外衝撃波結石破碎装置、生体情報モニタ、高圧蒸気滅菌装置等を導入および更新した。

備品については、食器洗浄機等を購入した。

(1) 建物および付帯設備工事

工事費の総額は、3億8,166万9,700円（消費税込み）で、主なものは、東西南棟機械設備改修工事費3億1,710万円、東西棟外壁塗装等工事費4,334万4,000円、結石治療室改修工事費839万2,650円、東西南棟機械設備改修工事監理委託費523万円等である。

(2) 固定資産購入

医療器械購入費は53件、総額2億3,190万6,710円（消費税込み）で、主なものは、ＣＲシステム9,765万円、体外衝撃波結石破碎装置3,780万円、生体情報モニタ1,396万5,000円、高圧蒸気滅菌装置1,050万円等である。

また、備品購入費は8件、総額2,975万7,000円（消費税込み）で、食器洗浄機1,799万7,000円が主なものである。

第3 要望等事項

全国の自治体病院においては、診療報酬の引下げの影響等から7割を超す病院が赤字経営となっている中、平成19年度の青梅市立総合病院（以下「総合病院」という。）では、黒字決算となっている。

これは、小児科、産科、麻酔科等の医師不足への対応や看護師等の病院スタッフの確保、先進医療機器の導入や医療器械の更新、病院施設の改良など、医療体制の充実に努められた結果として、大変厳しい病院運営を良好な状態に維持しているものとする。

さて、平成19年度における総合病院の決算状況を見ると、総収益は、医業収益が1.6%、特別利益が27.2%とそれぞれ増加したものの、医業外収益が15.2%減少し、0.3%の減になっている。また、総費用については、前年度に比べて、医業費用が0.2%、医業外費用が2.7%、特別損失が9.7%とすべて増加し、0.4%の増となっている。

しかしながら、会計全体においては、事業収益額が事業費用額を上回り、前年度に引き続き本年度も黒字となったところである。

以上のような決算状況の中、改修工事については、東西南棟機械設備改修工事、東西棟外壁塗装等工事等を行っている。

また、医療器械については、CRシステムや体外衝撃波結石破碎装置等を導入および更新し、医療の充実に努めている。

今後もより一層、経営の能率化および合理化の徹底を図るとともに、地域医療の核として、医療の質の更なる向上を期待するものである。

次に、本年度の決算審査の中から、幾つかの要望を述べることにする。

1 未収金対策について

未収金については、3年という短い期間で時効となることから、未収金の回収に当たっては、短期間に効率よく回収できるような的確に対応願いたい。

2 補助金の要望について

東京都は、平成19年度から公立病院への補助金を引き下げている。

西多摩保健医療圏には、都立病院がないことから都立病院の補完をしている当病院の評価を頂き、更なる医療サービスの向上のためにも引き続き東京都へ補助金の引き上げを要望願いたい。

3 医師および看護師の確保について

医師および看護師不足については、社会的な問題となっており、総合病院においても同様に厳しい状況である。この現状を打開すべく、鋭意努力されている。今後も更なる診療体制の充実のため医師および看護師の確保に努められたい。

4 退職給与金の確保について

退職給与引当金については、現在も不足の状況が見受けられる。毎決算期において、要支給額を念頭に置いた計画的な引き当てが行われるよう対応を願いたい。

5 安全で良質な医療の提供および健全経営の両立について

総合病院は、西多摩保健医療圏における中核病院として信頼される安全で良質な医療提供に努められている。

また、平成8年度から毎年度純利益を生じているが、今後とも更なる経営の安定化と地域に信頼される医療を目指し、これらの両立に努められるよう願いたい。

別表 1

比較損益計算書

(単位:円、%)

科 目	1 9 年 度				1 8 年 度			
	金 額	構 成 比	増 減 率	対前年度差引額	金 額	構 成 比	増 減 率	対前年度差引額
医 業 収 益	13,515,675,789	89.7	1.6	217,759,105	13,297,916,684	88.0	0.3	36,026,963
入 院 収 益	7,997,293,753	53.1	0.1	11,470,403	8,008,764,156	53.0	2.4	193,848,277
外 来 収 益	5,256,205,077	34.9	5.3	264,818,044	4,991,387,033	33.0	1.9	91,344,764
そ の 他 医 業 収 益	262,176,959	1.7	12.0	35,588,536	297,765,495	2.0	28.7	66,476,550
医 業 外 収 益	1,502,303,139	9.9	15.2	269,472,642	1,771,775,781	11.7	3.9	66,215,351
受 取 利 息 配 当 金	1,293,020	0.0	3337.1	1,255,400	37,620	0.0	75.6	116,684
他 会 計 補 助 金	0	-	-	0	0	-	-	0
補 助 金	756,712,000	5.0	10.8	91,214,000	847,926,000	5.6	0.4	3,416,000
他 会 計 負 担 金	592,491,000	3.9	4.5	25,341,000	567,150,000	3.8	0.6	3,256,000
引 当 金 取 崩 し 収 入	0	-	皆減	200,121,280	200,121,280	1.3	57.2	72,834,810
基 金 取 崩 し 収 入	0	-	-	0	0	-	皆減	170,100
患 者 外 給 食 収 益	217,152	0.0	0.0	0	217,152	0.0	0.0	0
そ の 他 医 業 外 収 益	151,589,967	1.0	3.0	4,733,762	156,323,729	1.0	4.0	6,492,675
特 別 利 益	55,661,322	0.4	27.2	11,901,295	43,760,027	0.3	18.8	10,113,932
固 定 資 産 売 却 益	0	-	-	0	0	-	-	0
過 年 度 損 益 修 正 益	54,638,274	0.4	29.5	12,462,692	42,175,582	0.3	21.5	11,576,715
そ の 他 特 別 利 益	1,023,048	0.0	35.4	561,397	1,584,445	0.0	1,202.3	1,462,783
収 益 合 計	15,073,640,250	100.0	0.3	39,812,242	15,113,452,492	100.0	0.1	20,074,456
医 業 費 用	13,799,314,466	92.7	0.2	24,111,740	13,775,202,726	92.9	0.5	70,407,491
給 与 費	6,222,521,892	41.8	0.0	448,677	6,222,073,215	42.0	4.0	238,452,140
材 料 費	4,732,350,951	31.8	0.4	19,680,704	4,752,031,655	32.0	2.1	101,994,717
経 費	1,881,526,177	12.6	0.2	3,474,375	1,878,051,802	12.6	2.9	55,458,798
減 価 償 却 費	911,180,049	6.1	2.9	25,371,237	885,808,812	6.0	1.5	13,944,022
資 産 減 耗 費	25,738,751	0.2	139.9	15,010,456	10,728,295	0.1	164.3	6,668,444
研 究 研 修 費	25,996,646	0.2	1.9	512,301	26,508,947	0.2	11.1	3,315,556
医 業 外 費 用	1,003,939,799	6.8	2.7	26,154,146	977,785,653	6.6	2.9	29,713,059
支 払 利 息	256,006,890	1.7	6.4	17,544,981	273,551,871	1.8	5.8	16,888,281
引 当 金 繰 入 費 用	398,275,000	2.7	12.6	44,471,000	353,804,000	2.4	0.2	600,000
基 金 積 立 金	30,147	0.0	650.9	26,132	4,015	0.0	0.4	15
患 者 外 給 食 材 料 費	217,152	0.0	0.0	0	217,152	0.0	0.0	0
雑 損 失	349,410,610	2.4	0.2	798,005	350,208,615	2.4	3.7	13,424,763
そ の 他 医 業 外 費 用	0	-	-	0	0	-	-	0
特 別 損 失	75,813,204	0.5	9.7	6,710,366	69,102,838	0.5	39.3	19,497,450
固 定 資 産 売 却 損	0	-	-	0	0	-	-	0
過 年 度 損 益 修 正 損	75,193,704	0.5	9.3	6,376,896	68,816,808	0.5	39.0	19,303,529
そ の 他 特 別 損 失	619,500	0.0	116.6	333,470	286,030	0.0	210.5	193,921
費 用 合 計	14,879,067,469	100.0	0.4	56,976,252	14,822,091,217	100.0	0.4	60,191,882
当 年 度 純 利 益	194,572,781	-	33.2	96,788,494	291,361,275	-	12.1	40,117,426

別表 2

比較貸借対照表

科 目	1 9 年 度				1 8 年 度		
	金 額	構成比	増減率	対前年度差引額	金 額	構成比	増減率
固 定 資 産	14,782,436,955	77.1	2.2	334,625,412	15,117,062,367	78.8	1.5
有形固定資産	14,767,567,437	77.0	2.2	335,125,412	15,102,692,849	78.7	1.5
土 地	129,864,912	0.7	0.0	0	129,864,912	0.7	0.0
建 物	12,291,933,462	64.1	1.6	199,120,220	12,491,053,682	65.1	3.4
構 築 物	93,027,725	0.5	11.3	11,822,549	104,850,274	0.5	11.5
器 械 備 品	2,134,101,779	11.1	8.7	202,328,524	2,336,430,303	12.2	9.3
車 両	907,113	0.0	32.8	443,298	1,350,411	0.0	24.7
放射性同位元素	872,597	0.0	64.3	1,570,670	2,443,267	0.0	39.1
建設仮勘定	115,859,849	0.6	215.7	79,159,849	36,700,000	0.2	203.3
その他有形 固 定 資 産	1,000,000	0.0	皆増	1,000,000	-	-	-
無形固定資産	4,369,518	0.0	0.0	0	4,369,518	0.0	0.0
電話加入権	4,369,518	0.0	0.0	0	4,369,518	0.0	0.0
投 資	10,500,000	0.1	5.0	500,000	10,000,000	0.1	0.0
投資有価証券	0	-	-	0	0	-	-
長期貸付金	500,000	0.0	皆増	500,000	-	-	-
基 金	10,000,000	0.1	0.0	0	10,000,000	0.1	0.0
流 動 資 産	4,397,976,660	22.9	8.0	326,734,876	4,071,241,784	21.2	9.3
現金預金	1,922,283,320	10.0	10.9	188,981,500	1,733,301,820	9.0	32.2
未 収 金	2,351,905,643	12.3	6.0	133,211,850	2,218,693,793	11.6	3.0
貯 蔵 品	118,317,337	0.6	4.6	5,163,526	113,153,811	0.6	6.6
前 払 金	0	-	-	0	0	-	-
その他流動資産	5,470,360	0.0	10.2	622,000	6,092,360	0.0	14.2
資 産 合 計	19,180,413,615	100.0	0.0	7,890,536	19,188,304,151	100.0	0.6

(単位:円、%)

科 目	1 9 年 度				1 8 年 度			
	金 額	構成比	増減率	対前年度差引額	金 額	構成比	増減率	
負 債	固 定 負 債	1,324,133,770	6.9	43.0	398,275,000	925,858,770	4.8	19.9
	引 当 金	1,324,133,770	6.9	43.0	398,275,000	925,858,770	4.8	19.9
	退職給与引当金	1,324,133,770	6.9	43.0	398,275,000	925,858,770	4.8	19.9
	流 動 負 債	1,259,166,768	6.6	2.8	34,357,460	1,224,809,308	6.4	7.0
	一時借入金	0	-	-	0	0	-	-
	未 払 金	1,257,004,060	6.6	2.8	34,337,313	1,222,666,747	6.4	7.0
	前 受 金	1,073,470	0.0	0.9	10,000	1,083,470	0.0	10.7
	研究研修奨励 援助経費引当金	89,238	0.0	51.0	30,147	59,091	0.0	7.3
	その他流動負債	1,000,000	0.0	0.0	0	1,000,000	0.0	0.0
	負 債 合 計	2,583,300,538	13.5	20.1	432,632,460	2,150,668,078	11.2	3.0
資 本	資 本 金	12,280,555,469	64.0	4.7	611,236,641	12,891,792,110	67.2	2.2
	自己資本金	2,556,969,691	13.3	4.9	119,228,000	2,437,741,691	12.7	1.4
	固有資本金	3,617,176	0.0	0.0	0	3,617,176	0.0	0.0
	繰入資本金	2,467,652,515	12.9	1.4	33,528,000	2,434,124,515	12.7	1.4
	組入資本金	85,700,000	0.4	皆増	85,700,000	-	-	-
	借入資本金	9,723,585,778	50.7	7.0	730,464,641	10,454,050,419	54.5	3.0
	企業債	9,723,585,778	50.7	7.0	730,464,641	10,454,050,419	54.5	3.0
	他会計借入金	0	-	-	0	0	-	-
	剰 余 金	4,316,557,608	22.5	4.1	170,713,645	4,145,843,963	21.6	9.3
	資本剰余金	2,562,092,588	13.4	2.5	61,840,864	2,500,251,724	13.0	2.5
	受贈財産 評価額	2,501,905	0.0	66.6	1,000,000	1,501,905	0.0	0.0
	寄 付 金	10,100,000	0.1	0.0	0	10,100,000	0.1	0.0
	補 助 金	2,544,420,683	13.3	2.4	60,840,864	2,483,579,819	12.9	2.5
	交 付 金	5,000,000	0.0	0.0	0	5,000,000	0.0	0.0
	そ の 他 資 本 剰 余 金	70,000	0.0	0.0	0	70,000	0.0	0.0
	利 益 剰 余 金	1,754,465,020	9.1	6.6	108,872,781	1,645,592,239	8.6	21.5
	減債積立金	0	0.0	皆減	71,100,000	71,100,000	0.4	30.5
建設改良積立金	1,446,000,000	7.5	23.6	276,000,000	1,170,000,000	6.1	36.7	
当年度未処分 利 益 剰 余 金	308,465,020	1.6	23.7	96,027,219	404,492,239	2.1	8.8	
資 本 合 計	16,597,113,077	86.5	2.6	440,522,996	17,037,636,073	88.8	0.3	
負債・資本合計	19,180,413,615	100.0	0.0	7,890,536	19,188,304,151	100.0	0.6	